

2016 年度秋学期授業評価アンケート集計結果について

2017 年 8 月 25 日

< 設問別 >

※設問は大きく四つのカテゴリー、< A : 履修者の自己評価 > / < B : シラバスについて > / < C : 担当者と授業について > / < D : 授業の成果について > に分けられ、全部で 10 の設問があります。これに加えて、最後に、設問 11 として < E : 授業外学修時間 > について尋ねています。

設問区分		設問
A	問 1	私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。
B	問 2	私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。
C	問 3	担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。
	問 4	授業は、授業の目標達成のために計画的に進められた。
	問 5	授業は担当者の教え方（説明の仕方や話し方）は適切だった。
	問 6	授業の内容はわかりやすかった。
	問 7	授業の進度は適切だった。
D	問 8	授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言を与えたり質問に答えたりしてくれた。
	問 9	私は、この授業によって学習意欲が喚起された。
	問 10	総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。
E	問 11	この授業の授業時間外の学習時間（授業 1 回ごとの平均）※該当するものにマーク ① 30 分未満、② 30 分～1 時間、③ 1～2 時間、④ 2～3 時間、⑤ 3～4 時間、 ⑥ 4 時間以上

※設問に対する回答は、以下の選択肢から選ぶように求められた。

回答内容	マークシートの記入番号
全くそう思わない	1
そう思わない	2
どちらかといえばそう思わない	3
どちらかといえばそう思う	4
そう思う	5
強くそう思う	6

<教育課程全体>

357 科目について、のべ6821 人から回答を得た。

学部教育課程全体として、ここ数年来特に変化なく、④「どちらかといえばそう思う」から⑥「強くそう思う」の肯定的評価を受けており、総合的には5.0（8割）以上のプラス評価を受けているといえる。

設問区分ごとのコメント

A. 受講者自身の自己評価について

ここでは①～③の消極的回答は3.9%（春学期は5.7%）にすぎず、授業科目を意欲的に受けたと積極的に自己評価する学生が9割以上となる結果であった。

B. シラバスについて

ここでは①～③の消極的回答は11.2%（春学期は13.5%）であり、科目選択の際にシラバスに目を通していない学生が漸減しているとはいえ依然として1割弱ではあるが存在しており、読むことの重要性を引き続き説きたい。

C. 担当者と授業について

この項目では、6ポイント中の5.1～5.2の範囲で回答が収まっていることから、学部教育課程全体としておおむね高い授業評価を受けていると言える結果となった。

D. 授業の成果について

設問9の学習意欲が喚起されなかったと回答した（①～③）学生が6.9%（春学期は9.2%）、設問10の授業が有益でなかったと回答をした（①～③）学生が4.9%（春学期は6.3%）存在するが漸減している。これをゼロに近づけることが必要であるが、春学期同様、学部教育課程全体の授業成果についてかなり肯定的に受け止めている学生が多いことを積極的に評価しておきたい。

E. 授業外学修時間について

1単位科目（45時間の学修時間必要）では週1回の授業に対し授業外学修時間として1時間必要とされ、2単位科目（90時間の学修時間必要）では週1回の授業に対し授業外学修時間として4時間が必要とされている。ここでは学部教育課程全体として集計されている結果が一括して示されているので、それぞれの科目カテゴリー毎でのコメントに譲ることとしたいが、それにしても、春学期同様、①（30分未満）から③（1～2時間）で回答の8割に及ぶ勢いであることは由々しき状況であるといわざるを得ず、圧倒的に学修時間不足であることを示している。授業外学修で何をすべきかを指示するのみでなく、これを点検・評価する科目設計の実質化がますます求められることになりそうである。もちろん、学生たちの授業外学修時間を担保する学部教育課程の科目配置も同時に準備されなければならない、科目単位と学修時間の見直しを含め早急に検討する必要があるだろう。

（文責：教育支援部長 山川）

(全体集計表)

設問区分		設問		実数 (人)	割合(%)
A	問1	私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。	①	17	0.3
			②	35	0.7
			③	141	2.9
			④	833	16.9
			⑤	1982	40.3
			⑥	1915	38.9
B	問2	私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。	①	81	1.6
			②	98	2.0
			③	374	7.6
			④	880	17.9
			⑤	1759	35.8
			⑥	1725	35.1
	問3	担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。	①	16	0.3
			②	30	0.6
			③	120	2.4
			④	817	16.6
			⑤	1904	38.8
			⑥	2023	41.2
C	問4	授業は、授業の目標達成のために計画的に進められた。	①	13	0.3
			②	19	0.4
			③	101	2.1
			④	711	14.5
			⑤	1882	38.3
			⑥	2194	44.6
	問5	授業は担当者の教え方(説明の仕方や話し方)は適切だった。	①	24	0.5
			②	42	0.9
			③	134	2.7
			④	676	13.7
			⑤	1810	36.8
			⑥	2234	45.4

(全体集計表続き)

	問6	授業の内容はわかりやすかった。	①	28	0.6
			②	60	1.2
			③	182	3.7
			④	774	15.7
			⑤	1771	36.0
			⑥	2104	42.8
	問7	授業の進度は適切だった。	①	20	0.4
			②	30	0.6
			③	113	2.3
			④	699	14.2
			⑤	1847	37.6
			⑥	2206	44.9
	問8	授業担当者は、学生が質問や相談しやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言を与えたり質問に答えたりしてくれた。	①	36	0.7
			②	50	1.0
			③	140	2.8
			④	741	15.1
			⑤	1685	34.2
			⑥	2269	46.1
D	問9	私は、この授業によって学習意欲が喚起された。	①	29	0.6
			②	71	1.4
			③	241	4.9
			④	918	18.7
			⑤	1742	35.4
			⑥	1918	39.0
	問10	総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。	①	30	0.6
			②	41	0.8
			③	170	3.5
			④	756	15.4
			⑤	1702	34.6
			⑥	2221	45.1
E	問11	この授業の授業時間外の学習時間(授業1回ごとの平均)※該当するものにマーク ① 30分未満、② 30分～1時間、③ 1～2時間、④ 2～3時間、⑤ 3～4時間、⑥ 4時間以上	①	1146	23.4
			②	1414	28.8
			③	1194	24.3
			④	501	10.2
			⑤	344	7.0
			⑥	308	6.3